

北鬼江1号公園マネジメントプラン（概要版）

<公園の概要>

面積：3,298㎡ 所在地：北鬼江二丁目705
 公園種別：街区公園
 用途地域：第一種中高層住居専用地域、第二種住居地域
 避難所：指定緊急避難場所（一次避難所）
 主な施設：遊具（ブランコ、滑り台）、ベンチ、トイレ（男子、女子）、水飲み器、照明

<利用状況（意見）>

- ・線路が近いので、電車を見に訪れる方がいる。
- ・広場で遊ぶ人が少ない。

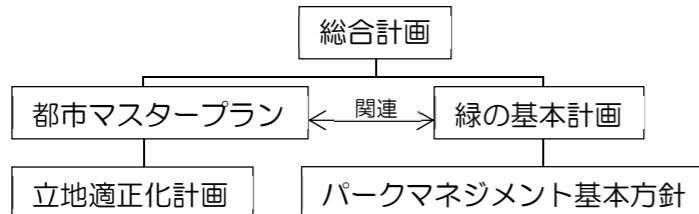
<問題点>

- ・線路側の樹木が邪魔で、電車が見えにくい。
- ・広場の水はけが悪い。
- ・トイレの配置が公園入口から離れている。
- ・女性にはトイレが使いづらい。
- ・落ち葉が多い。
- ・日射しや雨を遮る四阿が無い。
- ・フェンスに防球機能が乏しい。

魚津市パークマネジメント基本方針（R1.7月策定）

基本理念 「公園で地域の魅力と価値を高める」

目指す公園像 ・人々が集い、つながりを生む公園
 ・地域の愛着と誇りを育てる公園



【今後の公園の整備、運営にあたって重視すべき基本的な視点】



【機能の再編】

○みんなが使いやすい公園になるように、役割を「みなおす」。



道下地区公園魅力向上推進協議会

- R4. 6月 第1回 趣旨説明、公園の現状・改善すべき点について（意見聴取）
- 7月 第2回 道下まちづくり委員会の取組報告、公園毎の方向性検討
- 8月 第3回 公園毎の機能再編・再整備内容の検討
- 10月 第4回 公園毎の目指すべき姿(将来像)の決定、維持管理・機能再編・改修整備方針の検討
- 11月 第5回 公園毎の再編イメージ図・プラン内容の検討
- 12月 公園別マネジメントプラン（案）作成
- R5. 1月 公園別マネジメントプラン（案）記載内容の確認（書面）

公園の目指すべき姿 「新たなコミュニティ形成を目指す 電車の見える公園」（将来像）

機能再編方針

公園の目指すべき姿を実現するため、近隣の街区公園との機能分担により、当公園は、「コミュニティ」と「休養」を主たる機能として施設の再編を図る方針とします。

既設遊具による「遊び」の機能は将来的に近隣の他公園へその機能を集約し、電車を見に訪れる方を含めた公園利用者が安心して利用できる、また、鉄道利用者から公園を利用してみたいと感じて頂けるような、雰囲気の良い公園になるよう、施設の再配置や住民協働による管理運営の実現を目指します。

公園施設毎の方針

遊具：使用継続が困難と判断された場合は直ちに使用禁止とし、速やかな撤去に努める。

植栽：山側の植栽は鉄道への見通し確保、南側のケヤキは落葉対策として、剪定・伐木を検討する。

トイレ：多目的トイレを備えた施設への改築を検討する。

水飲み器：バリアフリー対応型への更新を検討する。

ベンチ：日よけ・あずまや新設の検討に併せ、仕様や適切な配置を検討する。

広場：芝舗装への改修を検討する。沢山の方が公園の管理運営に関わることを通したコミュニティの活性化を図れるよう、公園里親制度等の活用を努める。

駐車場：公園の一部を駐車場に整備して、利用の活性化を図る。

外柵：更新等の際は、公園の機能に合致した空間になるよう、高さや仕様の見直しを行う。

今後の取組・課題など

- ・再整備へ向けた実施設計
- ・周辺環境などの変化に応じたプランの見直し
- ・利用状況の把握、公園利用ルールの検討、多様な主体との連携手法の検討など

公園の持つ機能の分類

機能	施設の例など
① 遊び	複合遊具、単体遊具、砂場 ボール遊び等自由に遊べる広場
② 休養	ベンチ、あずまや、水飲み場、ピクニック広場、野外卓 開放的な植栽、緑陰
③ コミュニティ	地域活動・市民活動の場 (花壇づくり、市民農園、イベントスペース)
④ 健康づくり	ジョギングやウォーキングに適した園路、腹筋運動のできるベンチ 背伸ばし・ぶら下がり運動のできる健康遊具
⑤ スポーツ	バスケットゴール、ゲートボール場、フットサル場 スケートボード場
⑥ 防災	生垣や燃えにくい樹種の植栽、非常時に「かまど」になるベンチ マンホールトイレ、非常時にテントになるパーゴラ、防災倉庫
⑦ 自然	大規模な樹林や水路、ビオトープ 自然に触れられる散策路
⑧ 景観の形成	象徴的な都市空間や良好な街並みの形成、地域固有の景観保全・活用 (四季を感じる花木、ケヤキ並木、シンボルツリー、歴史施設関連)
⑨ 環境の保全	生物多様性の確保、ヒートアイランド現象の緩和、地域固有種の保全 (自然観察園、緑道、〇〇の森)

（再編イメージ案）

